

[成果情報名] 中輪、黄花、一重咲きの切り花用マーガレット新品種「伊豆 37 号」

[要 約] 交雑育種法により、中輪タイプ、黄花で一重咲きの切り花用新品種「伊豆 37 号」を育成した。本品種は、年内から開花し、切り花のフォーメーションが優れており、年内から 60cm 以上の切り花長割合が高く、現地の適応性も高いことから、切り花用品種として有望である。

[キーワード] 鉢物、マーガレット、新品種、交配育種

[担 当] 静岡農林技研・伊豆研セ

[連絡先] 電話 0557-95-2341、電子メール agriizu@pref.shizuoka.lg.jp

[区 分] 関東東海北陸農業・花き

[分 類] 技術・普及

[背景・ねらい]

切り花用マーガレットは静岡県伊豆地域で生産されている。一方で、黄色品種では、年内から開花し、フォーメーションが優れた特性を持つ品種の育成が求められている。このため、交雑育種により既存の品種よりも優れた特性を持った切り花用マーガレット新品種を育成する。

[成果の内容・特徴]

- 1 育成経過：2012 年に静岡県農林技術研究所伊豆農業研究センターにおいて、育成系統「08-15-7」を種子親にし、スーパーレモネードを花粉親に用いて交配した種子を播種して得られた 19 個体から 1 個体を優良個体として選抜した。選抜個体を系統とし、所内および現地ほ場で生育および開花特性に注目して選抜を行った。その結果、花色が黄色で一重咲きの「C12-14-1」は切り花品種として有望性が認められたため、育成系統候補「伊豆 37 号」とした（図 1）。
- 2 生育特性：「伊豆 37 号」は、中輪タイプの一重咲きの黄花で、年内から収穫でき、切花長の 60cm 以上の割合が高い（表 1）。またフォーメーションが優れ、花数も多い。年内から開花し切花長が長いいため切花用に向く（図 2）。
- 3 現地適応性：「伊豆 37 号」は、切花向けの草姿で、年内から開花したことから年内出荷が可能な切花用品種として評価された（表 2）。

[成果の活用面・留意点]

- 1 種苗法による品種登録を出願予定であり、栽培にあたっては静岡県との許諾契約が必要である。

[具体的データ]

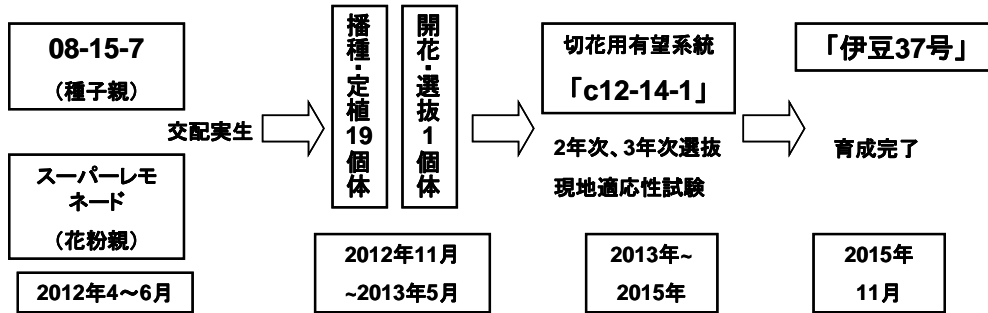


図1 マーガレット「伊豆37号」の育成経過

表1 「伊豆37号」の生育開花特性(所内試験、地床栽培)¹⁾²⁾

系統名 品種名	草型	開花 開始	花色 舌状花 筒状花	花径 (cm)	花型	年内の切花長 60cm以上割合	葉縁の鋸歯	フォーメーション ³⁾
伊豆37号	立	12月中	黄 黄	4.6	一重	100%	深鋭	○
スーパーレモネード ⁴⁾	立	1月上旬	黄 黄	5.0	一重	-	鈍	△

- 1) 生育特性はマーガレット審査基準により栽培期間中に観察調査を行った。
- 2) 挿し芽: 2013年6月上旬、ポット上げ: 6月下旬、定植: 7月17日
- 3) ○: 良好、△: やや良好
- 4) 対象品種

表2 「伊豆37号」の生育開花特性および栽培担当者の評価(現地試験、地床栽培)^{1),2)}

系統名 品種名	草丈	開花 開始	花径	花型	現地生産者の評価
伊豆37号	高	11月下	中	一重	開花が早く、フォーメーションがよい。(Y,W,V) 花数が多い。(Z,Y,X,V)
スーパーレモネード ⁴⁾	高	12月中	中	一重	

- 1) 生育特性はマーガレット特性審査基準に従って観察調査を行った。
- 2) 挿し芽: 2014年6月上旬、ポット上げ: 6月下旬、7月上旬に生産者に引渡し以降は現地慣行で栽培した。
- 3) 南伊豆町(Z、Y、X)、河津町(W)、東伊豆町(V)
- 4) 対象品種



図2 「伊豆37号」の開花時の様子と全体写真

[その他]

研究課題名: マーガレット等伊豆特産花きの育成と生育特性の解明

予算区分: 県単

研究期間: 2011~2015年度

研究担当者: 武藤貴大